

東京大学 医科学研究所 基礎・応用医科学の推進と先端医療の実現を目指した医科学国際共同研究拠点



拠点長:村上 善則

○医科学研究所の強みである、常駐者が配置された海外拠点での国際共同研究の実績を活かし、海外の研究者を招聘するなど、医科学研究所に**国際共同研究プラットフォームを構築し、そのプラットフォームを国内の共同研究課題と共有することにより、研究者コミュニティの国際化に貢献する。**

研究所の概要

研究分野: 感染症、免疫、癌、ゲノム、再生医療、疾患モデル、神経・筋疾患、遺伝子・細胞治療、橋渡し研究など、多様な医科学研究分野

研究者数: 169人(平成30年5月1日現在)

実績: 常駐者が配置された**海外拠点を世界各国に展開し、ハイインパクトな学術誌にその研究成果を発表するなど、世界レベルの国際共同研究実績を誇る。**

当該研究所の現状分析

医科学研究所は、欧米先進国から発展途上国にいたるまで、多くの海外拠点で、実効的な国際共同研究を展開してきている。

一方で、真の国際共同研究には、**海外の研究者が医科学研究所を訪問し、研究活動を推進することが必須であり、これを実現するための高度な国際的研究環境の整備が必要である。**

機能強化を図る取組

- ・ 海外研究者招聘システムを確立する。
- ・ 医科学研究所の国際共同研究プラットフォームと国内共同研究課題との融合を図る。
- ・ 若手研究者の国際共同研究への参画を推進する。
- ・ 新規国際共同研究拠点を開拓する。

機能強化により期待される効果

- ・ 多様な医科学研究領域において、**多数の国際共同研究の受入れ**が実現する。
- ・ 国際共同研究プラットフォームと国内共同研究課題との融合を通じ、**日本の医科学研究者コミュニティの国際化に効率的に貢献**できる。



医科学研究所



附属病院



スーパーコンピューター